

かたの民報

2020年10月4日
NO. 1731

【発行】

日本共産党
市会議員団

ご相談は市役所
議員団控室へ

私部 1-1-1
☎ 892-0121
(内線 301)



さらがい ふみ
星田 7-44-21
☎ 894-2835



藤田 まり
私部西 2-16-13-310
☎ 397-3027



北尾 まなぶ
倉治 7-8-7
☎ 893-3163

9月議会

市役所の移転建て替え 市が「再考」を表明!

9月議会の一般質問と総務文教常任委員会(9月25日)で、市は、市役所庁舎を移転し建て替える計画を「再考する」と表明しました。

財政見直し厳しく「再考」

市は今年3月に「庁舎整備基本構想」を策定し、新庁舎を「いきいきランド敷地内」に建設し、「青年の家」を廃止して新庁舎に複合化する方針を決めました。

市は、国の財政支援の期限となる今年度中に、構想を具体化した「基本計画」を策定し、基本設計・実施設計を行う予定

でした。

しかし、9月議会で、市は「コロナ禍を踏まえた国・市の財政面での不確定要素や、市の税収減など財政見通しの厳しさ、整備費の増加などを踏まえると、財政負担が大きく、財政見通しが立てられるかを判断することが最優先である」とことから、新庁舎整備について「再考」し、計画を

見直すことを表明しました。

あまりにズサンな事業費試算

市の「財政運営基本方針」(2018年策定)では当初、庁舎整備の費用は35億円とされていました。その後の「基本構想」では、立体駐車場などを含めて想定建設費約56億円が示されました。

ところが市の報告によると、今年度、「基本計画(案)」の検討にあたり、改めて建設費を算出したところ、約83億円と大きく増額されました(地盤調査等・雨水対策工事費等は、今後さら

に追加)。このうち、立体駐車場の整備費見込が4億円から14億円に大きく増額され、その理由については市は「ネット

で調べて試算していたが構造上高くなった」と説明しています。市の事業費の試算は、あまりにもズサンです。(裏面へ)

激増! 市庁舎の建設費見直し

財政運営基本方針(2018年2月)

庁舎整備 35億円



基本構想策定時(今年3月)

想定建設費 約56億円

- ・集約化・複合化による建替え 約52億円
(13,000㎡×40万円/㎡)
- ・付帯費用(立体駐車場費を想定) 約4億円

今回(9月25日総務文教常任委員会資料)

建設費 約83億円

- ・市役所棟 約45億円(9000㎡×50万円/㎡)
- ・文化施設棟 約24億円(4000㎡×60万円/㎡)
- ・立体駐車場 約14億円(7000㎡×20万円/㎡)
- *基本計画策定支援業務 委託事業者による市場調査結果による単価